

2008年9月18日 村林氏の講演要旨・・・(テクノロジスト育成塾交流会)

0・(自己紹介)

- 1 このテクノロジスト育成塾で志向されている経営と会話できるSE, システムコンサルタントは各企業で不足しており、その育成は急務だと考えています。特に今後、次世代を構想、計画するときには必須な人材となります。当行でも腐心しているところです。
- 2 政府も高度ICT人材が不足していると言っている。
<総務省のレポート>
 - ① 企業のICT人材不足 50万人
 - ② 内、高度 約35万人不足。
 - ③ 特に、CIO, システム企画などのマネージメントは22.7万人不足。
 - ④ 主な原因
 - 新たな付加価値を創造するようなICT活用が不十分である。
 - 長時間労働の慢性化などにより、人材育成のための時間確保が不十分。
 - OJT, OFF-OJTの機会が減少している。
- 3 慶応大学の高橋俊介先生の著作「人が育つ会社を作る」を熟読している。
——そこには、PC時代になって先輩の背中をみて育つことが出来なくなった企業環境が紹介されている。
——まったくそのとおりだと思う。
- 4 自分の育成はどうであったか・・・
—— 幸い、よい仕事とよい師に恵まれた
確かに、背中を見て育てる先輩(師)、機会、環境があった。
—— 今は、パソコンに向かう先輩の背中しか見えない。
師を見て育つことがそもそも出来なくなっている。
- 5 育成には3つの「し」が必要であると思う
 - ① 志：ITを通じて日本を豊かにしたいなどの志(こころざし)である
 - ② 師：例えば、自分は高杉晋作を尊敬している。師と思っている。
彼の教えのうち、
「面白き事なき世を面白く、澄みなすものは心なりけり」
の言葉を大事にしている。
PC時代には自分で尊敬できる人が師(背中)になると思う
 - ③ 詩：ポエムの心が必要だと思う。感性の世界である。
季節を感じることが出来たり、人と交わることが出来なければ
成長できないと思う。
- 6 ザインエレクトロニクスの飯塚社長に教わった言葉：「人資豊燃」を自分も

職場では唱えている。特に、現在は合併システムの推進の最中であるので・・・。

人資豊燃：「志（こころざし）の力を結集することが大事」
すなわち、システムの世界は資本主義ではなく、
志本主義が必要。

「人が豊かに燃えてこそ、会社が明るくなり、社会を照らす。
燃える人材の夢と志による挑戦が、困難な問題を克服し、新たな
創造を生み、社会を変えていく」

——人資豊燃の気持ちがないと巨大な合併システムは完成しない。

- 7 ITに関する書籍、WEB 2.0のサービスなどで時代の動向を示すことも人材の育成、夢を与えることに必要だ。

—「ウェブ進化論」、「フラット化する世界」、「経営の未来」、
「ウィキノミクス」など最近、刺激をうけた本だ。

—今の時代はウェブの世界。

集合知、全員参加型、グーグルの時代だ。

この時代にふさわしい人材育成があると思う。

- 8 今の時代の育成は、戦国時代と幕末時代とIT時代が同時に進行している時代として捉えなければならない。

この3つの時代にもとめられるリーダーの資質は次の6点だ。

- ① 先見力 ② 情報力 ③ 判断力 ④ 決断力 ⑤ 実行力
⑥ 健康力

——そして「あの人のためならという風土」が大事である。

—— インターラクティブなコミュニケーション、これが今の時代、大事である。

—— そしてNHKの大河ドラマ篤姫の中で勝海舟が言っていたセリフ
「力でなく心で動かす」ようにならねばならない

- 9 最後に、私は学生時代にはゴルフ部で、社会人になってからも好きで継続している。先日、タイガーウッズが故障をおしてプレイして皆に感動を与えてくれた。彼は正しくプロフェッショナルである。だから感動を与えることができる。

——システムの世界でも社内外に感動を与えてくれるようなプロ意識を持った人材を育てることが我々の役目だ。

——そのプロ意識をもった人材が合併後の次世代システムなどを構想し、推進してくれると期待していることを紹介して、私の話を終わります。

(終わり)